

## ビジネスアイデアの概要

ペットの生前からの写真・動画データをAIで解析し、性格や行動を反映した高精度な「デジタルペット（デジタルツイン）」を生成します。これを専用ハードウェア「Magic Pet Mirror」を通じて物理空間に再現し、生前は「見守り・記録」、死後は「再会・ケア」を提供する、ペットのライフサイクル全体に寄り添うサービスです。

## ビジネスアイデアを事業化するための課題

- **データ収集チャンネルの確立:** 訪問トリマーを通じた、良質な3Dデータおよび行動データの安定的かつ効率的な収集フローの構築。
- **Pre-loss段階での受容性検証:** ペットが元気なうちからデジタルツインを作成・育成する「育成型」UXの設計と、飼い主への価値検証。
- **MVP開発と市場調査:** ハードウェアとAIモデルを統合したMVPによる、初期ユーザー（アーリーアダプター）の獲得コスト(CAC)とLTVの検証。

## 事業化の見通し

訪問トリマー業界とのB2B2C連携により、顧客獲得コストを下げつつ、生前の高解像度データを蓄積する独自の参入障壁を築きます。「生前のエンタメ・見守り」から入り、「死後のグリーフケア」へと繋げることで、顧客生涯価値(LTV)の最大化を図ります。今後は法人化および資金調達を見据え、ベータ版のローンチとパートナー網の拡大を加速させます。

## 事業者情報

Kim Hyeonkang

筑波大学  
人間情報科学学術院  
情報学学位プログラム



## ビジネスアイデア概要図等

### 生前からつながるデジタルツイン : Magic Pet Mirror

